

海外乳製品市況

全粉乳・脱脂粉乳

南半球のオーストラリアは生乳生産のシーズン終盤に入っていますが、堅調な乳製品市場に裏打ちされて乳価が高水準であるため、生産者の生産意欲は旺盛で、補助飼料を与えながら生産を続けています。このため昨年水準を上回っています。

北部や西部では猛暑と乾燥のために干草が不足しており、北ビクトリアの灌漑用水を整備された地域からの調達で賄おうとしている模様です。同様にニュージーランド(以下NZ)でも1月の生乳生産は昨年対比7.4%増と好調を維持しています。北島は直撃したサイクロンの影響もあり干上がっていますが、南島の牧草の状態は良好であり、NZ総じて予想以上の生乳生産となっている模様です。

4月1日のgDT(グローバルデイリートレード)平均落札価格は全粉乳がUS\$4,033/MT(▲8.4%)、脱脂粉乳はUS\$4,126/MT(▲9.6%)と下落しました。

一方欧州もEU28国の1月の生乳生産は対年5.1%増と好調を維持しており、昨年とは違って変わって天候、乳価、飼料価格ともに良好なため、クォータ制の新年度にあたる4月からは生産者は生乳生産を増やしていくものと考えられています。これはオーストラリアにも言える事ですが欧州サプライヤーは粉乳製造設備増強に躍起になっています。

また昨今輸出国に変貌した米国もカリフォルニア州の早魃、ウィスコンシン州を見舞った寒波の懸念はあるものの生乳生産は特に落ちていません。需要は東南アジアや中東といった堅調な市場に下支えされているものの、中国需要が落ち込んでおり、世界的供給量が増加したために粉乳、特に全粉乳の価格は世界的水準で緩んできた感が見受けられます。

相場動向(3月27日米国農務省調べ・港渡価格)

| | | |
|--------|----------------------------------|---------------------------|
| □オセアニア | 全粉乳：US\$4,350 - 5,100/MT | 脱脂粉乳：US\$4,600 - 5,000/MT |
| □欧州 | 全粉乳：US\$4,750 - 5,200/MT | 脱脂粉乳：US\$4,200 - 4,550/MT |
| | スイートホエイパウダー：US\$1,275 - 1,500/MT | |



バター・その他乳脂肪

世界的に出回り量が増えてきたためにオセアニアのバター価格は若干緩みました。

ロシア通貨危機の影響もあり需要は減退しているものの東南アジア需要は高く、オセアニアAMF(無水乳脂肪)価格もバターと競合する価格まで下がってきています。4月1日のgDT平均落札価格はバターがUS\$4,040/MT(▲11.0%)、AMFはUS\$4,062/MT(▲11.3%)と大幅に下がりました。

一方の欧州は先月までの価格下落から下げ止まっています。春の到来が早かった事もあり、早くも冬バター(舎飼時期製造)から夏バター(放牧時期製造)のシフトが始まっています。しかし、これらのバターは2014年末需要に向けPSA(民間在庫補助)プログラムに組み込まれるため、輸出向けはタイト気味です。

相場動向(3月27日米国農務省調べ・港渡価格)

| | |
|--------|---|
| □オセアニア | バター：US\$4,475 - 5,000/MT |
| □欧州 | バター：US\$4,675 - 5,150/MT バターオイル：US\$5,800 - 6,300/MT |

